

本シリーズの特長

このシリーズは、前作の「更池の語り部・吉田小百合」が好評を博しているところからシリーズ化の構想をスタートさせ、このほどさらに内容の充実に努めた第2作・第3作が完成しました。このシリーズの特長は――

- A) 「研修会や各種の会合の時間枠に収まる作品を」という多くのご要望に応え、作品時間は30分以内
- B) 講演記録+ドキュメントという組み合わせにより、メッセージ性を高めるとともに、差別の実際を生で訴求した、説得力のある解りやすい内容
- C) 視聴後に、さわやかな感動をもたらす作品づくり
…それは人権意識向上への有効なアプローチとなる



HAKUEI

●お申し込み・お問い合わせは
教育映画&娯楽映画のパイオニア
博映商事
有限会社
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220
TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628
http://hakuei-shoji.jp E-Mail: info@hakuei-shoji.jp

第1巻／既刊

1998年11月完成／30分作品
ライブラリー価格 30,000円＋税

部落の心を伝えたい――

更池の語り部・吉田小百合



なんで読み書きできへんねん……学校行かれへんから
なんで学校行かれへんねん……金ないからです
なんで金ないねん……仕事ないんです
なんで仕事ないねん
……………そこに部落差別があるからです

第2巻／新刊

2000年8月完成／25分作品／ライブラリー価格 50,000円＋税

人の値うちを問う

――人権の詩人・江口いと――

三世代にわたる差別との闘い
～就職差別、結婚差別など



江口いとさん、1912年生まれ、87才。人権の詩として広く知られる「人の値うち」の作者であるいとさんは、息子の差別、孫の差別と3代にわたる差別を経験してきた。就職・結婚・学校現場での差別体験に基づく人間存在への視点は鋭く、しかし暖かい。

解放の希いに生涯を賭け続けるいとさん。その著「荊を越えて」の人生を克明に描いた本作品は、20世紀の掉尾を飾る人権ドキュメンタリーである。

解放に 希いをかける 我ゆゑに 今年も行かむ 西に東に(いと)

(ロケ地 / 鳥取・愛媛)



◎江口いとさんの著書



明石書店



青葉図書

第3巻／新刊

2000年8月完成／27分作品／ライブラリー価格 50,000円＋税

あした元気になあれ

――元気配達人・松村智広――

子供たちに
顔の見える教師として生きる



松村智広さん、1957年生まれ、43才。人権問題を明るく元気に前向きに捉え、行動する松村さん。全国各地での精力的な活動と、その人を引きつけて止まない講演内容から、部落の若きスターと呼ばれてきた。

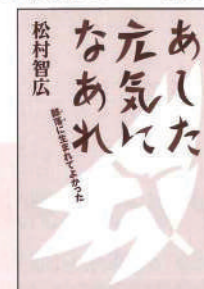
2000年4月、13年ぶりに中学校教師に復帰した松村さんが、まず始めたことは、全校生を集めてのヒューマンタイムであった。学校に1日も行くことができなかった祖母トラさんも呼び入れ、子どもたちに自らのありのままの姿を晒した。

本作品は、顔の見える教師として子どもたちの中に飛び込み、人間を育てることを決意した松村さんの姿を追う。

(ロケ地/大阪・兵庫・三重)



◎松村智広さんの著書



解放出版社